

社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク 2014 年度 事業計画書

<実施期間>

2014 年 4 月 1 日～2015 年 3 月 31 日

<2014 年度の方針>

1. 社会的責任向上のための NPO/NGO ネットワーク（以下、本ネットワーク）として、民間非営利セクターをはじめとして、あらゆる組織の SR(社会的責任)向上に向け、NPO/NGO の視点から学習会、啓発事業、情報発信を実施し、SR の普及に努める。
2. SR の普及啓発活動に、より多くの NPO/NGO が参加することを促進する。特に、地域の会員団体の参加が得られるよう連携強化に取り組む。
3. SR の普及、啓発に関すること、および「社会的責任に関する円卓会議」（以下、「SR 円卓会議」）について政策提言事業を推進する。
4. マルチステークホルダーの実践にむけ、東日本大震災後の復興に関する取り組みを含め可能な範囲での助言・側面支援に努める。

<2014年度の事業計画>

1. 啓発事業

[主旨]

日本における「SRのあるべき姿」の具体化へ向けて、引き続き ISO26000 の普及活動や SR 円卓会議での動きの報告・共有を行うとともに、特に、マルチステークホルダープロセス（MSP）等の手法も活用しながら、国内における NPO/NGO の SR の取り組みを広げることにより主眼を置き、より地域に密着した SR の実践事例紹介や、自団体での取り組みを促すための発信・学習機会づくりを提供していく。政策提言事業や各会員団体の事業等とも連携しつつ効果的な啓発活動を行う。SR や MSP の概念の共有をめざし、社会の動きや時宜を得た事業の実現を目指していく。

[事業内容]

(1) 本ネットワークの政策提言につながる事業の共有、情報提供

従来通り、ISO26000 の普及活動や地域円卓会議での動きの報告・共有を行いつつ、今年度も引き続き、地域での MSP の活用や SR の実践事例をグッドプラクティスとして積極的に集め紹介するとともに、自団体、あるいは地域での SR の取り組みを促す機会を啓発事業として提供していく。

- ・SR フォーラム 2014 の開催：2014 年 5 月 16 日（金）大阪にて開催。総会の開催を合わせた事業とし、広く会員を含む議論の場を設定する。
- ・発信の場づくり：5 月の SR フォーラム 2014 の成果をふまえ、2014 年 11 月の ISO26000 発行記念月間に地域での事例を集め発信できる機会の提供を行う。

(2) SR セミナーのコンテンツ・パッケージづくり

これまでに本ネットワークが作成した SR に関するハンドブック、あるいは本ネットワークが参画・関与して完成したハンドブック等を参考・ツールとして利用できるコンテンツやパッケージづくりについて、引き続き検討をしていくとともに、昨今注目度の高い地域円卓会議に関する事例を含めたガイドライン作成の検討も行う。

(3) SR セミナーの開催呼びかけ

引き続き、本ネットワーク内外へのセミナー開催を呼びかけていく。情報発信チームとの連携により、企画協力や講師派遣、出張サポート等の具体的な提案も行う。

(4) その他

本ネットワークとして、SR や MSP の概念の啓発につながる社会的な動きをとらえ、時宜を得た事業を柔軟に行うこととする。

2. 情報発信・広報事業

[主旨]

社会的、国際的に SR への関心が高まる中で、NPO/NGO の意識向上を図り、行動に移すことは、NPO/NGO が社会的な信頼を獲得し、他セクターと協働するために必須である。そのために、本ネットワークは SR の概念浸透、NPO/NGO 間の連携、議論のプラットフォームづくりを目的に情報を発信していく。

「啓発事業」や「政策提言事業」に関する情報を中心に、ウェブサイトやメーリングリストを通じた、タイムリーな発信を行う。また、より強固なネットワーク組織を目指し、会員獲得に努める。

[事業内容]

(1) ハンドブックの作成およびブックレットを活用した啓発活動

主催・共催・後援イベント会場で頒布するほか、ウェブサイトや SNS など、継続してハンドブックを紹介する。また、「NPO/NGO の SR の実践」をテーマとした新しいハンドブックの作成を検討している。

(2) NPO/NGO 向け情報発信の強化

NPO/NGO に対して NN ネットの活動を可視化するため、メーリングリスト、ウェブサイト、SNS、各種チラシなどを活用し、NN ネット活動全般について偏りなく定期的な情報発信を行う。非会員に対しては引き続き入会を促していく。

(3) 他セクター向け情報発信の強化

社会的な SR への関心を高めるため、また、NN ネットの認知度を向上させるため、NN ネット主催イベントに関するプレスリリースの発行を定期的に行い、メディアとの連携をはかる。

3. 政策提言事業

[主旨]

社会的責任に関わる国際規格 ISO26000 発行および JIS 化を受けて国内の普及、啓発に関すること、日本国内の動きとしての「社会的責任に関する円卓会議」の2つに絞った形で政策提言事業を推進する。関連する会議に、本ネットワークの代表協議者を派遣し、その内容を広く本ネットワーク会員をはじめとする NPO/NGO 関係者と共有する。

[事業内容]

(1) ISO26000 発行後の情報共有など

ISO26000 の発行3年後の見直しと改正の有無を問われる投票のために 2013 年度に再結成された「ISO/SR 幹事会」の NGO 委員に NN ネット代表協議者（堀江、黒田）が参加し、ISO26000 の活用方法や、普及に関して他のステークホルダーの委員らと情報共有や意見交換を行う。また、黒田は ISO26000 の発行後の組織（PPO: Post Publication Organization）の NGO ステークホルダーグループのメンバー代理を務める。

(2) ISO26000 の普及をめざし、イベント、セミナーを開催する

啓発チームと連携して ISO26000 の普及のためのイベント、セミナーを開催する（2014 年 5 月および 11 月を予定）。これらのイベントには NPO/NGO 関係者だけでなく、ISO26000 の元起草委員や、企業、自治体からも参加してもらうなど、他セクターからの協力も仰ぐ。

(3) 国際会議への参加

ISO26000 ならびに関連する国際会議に必要なに応じて代表協議者を派遣する。

(4) 社会的責任に関する円卓会議（以下、S R 円卓会議）への参画と推進

S R 円卓会議に本ネットワークの代表協議者（田尻、川北、横田、岩月、田村、黒田等）が委員として参加すると同時に、NPO/NGO ステークホルダー間で意見交換を行い、積極的な提案につなげる。2011 年に策定した協働戦略に基づく、ワーキンググループの活動においても引き続き参画し、より NPO/NGO ステークホルダー間で意見交換を行い、積極的な提案につなげる。

<2014年度 組織運営（事務局業務）計画>

1. 会議等の業務

(1) 第7回 通常総会の開催

日 時：2014年5月16日（金）13：30～15：00

会 場：大阪ボランティア協会 CANVAS 谷町 会議室

議 題：

- ・2013年度事業報告・決算の承認
- ・2014年度事業計画・予算の承認
- ・幹事団体の選出について
- ・監事の選出について
- ・その他

(2) 幹事会の開催

- | | | |
|----------|----------------|--------------|
| ・第69回幹事会 | 2014年4月15日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第70回幹事会 | 2014年5月13日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第71回幹事会 | 2014年6月17日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第72回幹事会 | 2014年7月22日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第73回幹事会 | 2014年8月19日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第74回幹事会 | 2014年9月16日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第75回幹事会 | 2014年10月21日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第76回幹事会 | 2014年11月18日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第77回幹事会 | 2014年12月16日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第78回幹事会 | 2015年1月20日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第79回幹事会 | 2015年2月17日（火） | 場所：日本NPOセンター |
| ・第80回幹事会 | 2015年3月17日（火） | 場所：日本NPOセンター |

2. 会員に対する業務

(1) 会員へのフォローアップ

- ・会員の入会、継続、休会等に伴う業務を行う。
- ・会員メーリングリストの運営と管理を行う。
- ・会員に対して、幹事会終了後、幹事会議事概要および次回幹事会日程をメーリングリストを通じて配信する。

(2) 会員データベース管理

- ・会員情報の整理と管理を行う。

3. 経理等の業務

(1) 日常的な会計

- ・円滑な業務執行を行うために、現金等の動きについて記録し、資金の動きを明確にする。

4. 総務関連の業務

(1) ウェブサイト管理・運営に関する業務

- ・新サイトの管理・運営を行う。

(2) 什器備品等の管理

- ・什器備品の発注や管理等についての業務を行う。

5. その他

- ・インターンの業務内容、受け入れ体制などを再検討し、定期的に事務局業務をサポートするインターンを募集する。
- ・日本 NPO センターが事務局を担う。